



Realizzato grazie al finanziamento  
Piano Integrato della Cultura 2015

REGIONE  
TOSCANA



#### 開館時間

- 10月16日～2月28日(冬季)  
平日、土・日祝休日10時～16時(チケット販売は15時15分まで)
- 3月1日～10月15日(夏季)  
平日、土・日祝休日10時～19時(チケット販売は18時15分まで)
- 閉館日12月25日
- 元旦12時～16時(チケット販売は15時15分まで)

パリオ週間6月27日～7月3日、8月11日～8月17日は開館時間の変更が生じる場合がございます。

#### チケット案内

一般	10ユーロ
家族割引(大人2名+未成年者11～18歳)	25ユーロ
11歳以下無料	

#### 共通チケット

プブリコ宮殿市立美術館、サンタ・マリア・デッラ・スカーラ救済院、マンジャの塔との共通チケットもございます(2日間有効)。  
一般 20ユーロ  
家族割引(大人2名+未成年者11～18歳) 40ユーロ

チケットの購入に関しては、事前のご予約・ご購入は扱っておりません。プブリコ宮殿市立美術館もしくはマンジャの塔のチケットカウンターにて当日お求めください。  
また、共通券をご購入いただいた際の最初の入館は、マンジャの塔とさせていただきますことをご承ください。

#### インフォメーション

Tel. 0577 292615 - 0577 292614  
Fax 0577 292620  
メールアドレス ticket@comune.siena.it

#### ご来場の皆さまへのお願い

マンジャの塔ご来場の際には、展望台への昇降、休憩を含めて見学時間は各30分以内とさせていただきます。  
一日に定められた入館者数を超えた際には、チケットの販売を終了させていただきますことをご承ください。  
悪天候および修復工事・点検整備などにより休館させていただく場合がございます。  
エレベーターは設置されておりません。  
塔の展望台までの階段は約400段におよびます。従って、心臓疾患、呼吸器疾患、閉所恐怖症、めまい、糖尿病、妊婦の方、また、一般的に身体健康上に問題のあるご来場者の皆さまへは展望台までの見学をご遠慮頂いております。  
14歳以下の未成年者の見学の際には保護者様の同伴をお願いしております。  
ご来場の皆さまへの安全の確保のため、塔の展望台から携帯品等が落ちないように以下のお願いを申し上げます。  
ペットのご同伴はご遠慮願います。  
カメラ、ビデオの撮影は可能です。しかしながら、付属のレンズ、ケース、三脚や一脚、自撮棒セルフィーなどの持ち込みはご遠慮願います。  
その他の携帯品、バッグや容器などは塔内に設置されたコインロッカーへお預け頂くようお願い致します。  
場合に応じて、館員よりご来場の皆さまへ携帯品の検査が行われる場合がございますことをご承ください。  
塔内には防犯カメラが設置されています。  
ご来場の皆さまへの安全確保また、重要文化財保護の目的で、違反行為が発見された際には法律に従い処罰の対象となります。

Foto di copertina e panoramica di Fotostudio56.it  
Veduta aerea di balloonintuscany.com  
Palazzo Pubblico di Mauro Guerrini



Testo di Veronica Randone  
Disegno di Chiara Benozzi, Illustrazione di Mika Maruta

# シエナ

市庁舎・プブリコ宮  
マンジャの塔

日本語

COMUNE DI SIENA





塔の名称は、街でも浪費家として知られ、鐘突き番であったジョヴァンニ・ディ・バルドゥッチョのあだ名「マンジャ(マンジャ・グアダーニ = 道楽者)」に由来します。中世の記事によると、1325年の秋に最初の基盤が築かれたとありますが、文献資料においては工費の支払いは1338年から始まったとされています。塔の階段は約400段にまでおよび、壁の厚さは2メートル、四方は7メートルx 7メートル、高さは87メートル(避雷針までは102メートル)の高さを誇ります。塔の上部はロッカと称される二段の王冠に似せた装飾部分からなり、シエナ市庁舎の基調となる白と黒を象徴するトラバーチン(石灰華)と黒色の石で建造されています。塔の建築は多年に渡り、数多くの高い技術を持った職人がこれにあたったとされ、シエナ出身の彫刻家であり建築家であるアゴスティーノ・ディ・ジョヴァンニとペルージャ出身のディ・リナルド兄弟、ミヌッチョとフランチェスコが、市から依頼を受け、1341年から1345年まで塔を完成させるために貢献しました。一方、画家リッポ・メンミが建造に参加していたという説は信じがたいものです。塔は大鐘が設置された年、つまり1349年に完成し、この鐘の音がシエナの街中に塔の完成を知らせたと言われていますが、おそらく1344年の12月18日には既に完



成していたとされます。市は1360年から手動による鐘の時報から、機械時計へ代替する試みを始めました。こうして1300年代の終わりには自動で鐘を突く木製の機械時計が塔の頂辺に設置され、最初の鐘突き番のあだ名であったマンジャの名も、そのまま受け継がれていきました。1425年には新しく真鍮製の時計に変わり、そして1766年にはフィレンツェの彫刻家アンジオリ・ビーニによるトラバーチンの石材による作品が設置されました。1780年になり、同作品は塔から移され、現在は吹き抜けの中庭(Cortile del Podestà)に展示されています。1666年からは、重さ6.764キロにもおよぶ威厳ある大鐘が塔の頂辺におさまり、被昇天の聖母マリア(マリア アッスンタ)に捧げられることから、シエナ市民からはその名にちなんで、セントと呼ばれています。また別名、確固たる大建造物に称してカンパノーネとも呼ばれています。大鐘の独特な重低音は1831年に下縁部分に亀裂が入ったためとされ、今日でもなおその鐘の音はシエナにおける重要な瞬間、とりわけパリオが行われる際には、シエナ市民と時を共にします。マンジャの塔の頂辺からは、シエナの中心街とその周辺地域の素晴らしい景色を堪能することができます。